



い わ む ら  
岩村みゆき 議員  
IWAMURA Miyuki

# Q. 投票支援カードの導入を

## A. 導入に向け検討する

今回の町議会議員選挙の投票率は前回より大きくポイントを下げた。いろいろな課題はあると思うが、高齢化の進展も一因としてあるのではないかと思っている。

**Q** 高齢者や障がい者が投票しやすい環境整備について、どのようにお考えか。

総務部長

**A** 現在、各投票所において車いすや車いす用の記載台の設置、段差解消用のスロープの設置を行っている。そのほか、点字名簿や点字器、コミュニケーションボードを用意している。

また、自ら投票用紙に候補者名を記載することが出来ない場合において、職員が選挙人に代わって投票用紙に候補者名や政党名などを記入する代理投票を行っている。

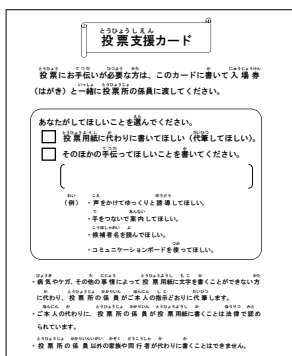
**Q** 代理投票の制度は承知しているが、住民から職員に声をかけるのは、なかなかハードルが高い。□頭による

申し出が困難な方へ印刷した用紙にあらかじめ記入をして投票所の係員に提示すると、必要な支援が受けられる「投票支援カード」を作成している市町村がある。豊山町でも導入してはどうか。

総務部長

**A** 「投票支援カード」は□頭での意思疎通や単独での投票が困難な方にとって、有効なコミュニケーションツールの一つであると認識している。

今後は、先進事例を参考に「投票支援カード」の導入について検討してまいりたい。



# Q. 書かない窓口の導入は

## A. 課題を検討し進める

**Q** 書かない窓口について見解を聞く。

企画調整部長

**A** 令和4年度、デジタル化・ICTの活用により、より一層の住民の利便性向上と役場業務の改善に取り組みため「豊山町DX推進計画」を策定した。

当該計画では行政サービスの質の向上の取り組みの一つとして、窓口申請のタブレット入力（書かない窓口）を進めることとしている。

書かない窓口は職員が来庁者から住所・氏名・生年月日などの情報を聞き取り、システムへ入力を行い、申請書の作成をするもの。来庁者の申請書作成の時間が軽減されることはもちろん、手続き漏れの防止や手続きにかかる時間の短縮などの住民サービスの

向上のほか、役場業務負担軽減の効果についても期待できるものと考えている。



**Q** 書かない窓口の導入に向けた今後の取り組みは。

企画調整部長

**A** 豊山町DX推進計画の施策を着実に推進するために、6月に豊山町DX推進本部を設置する予定である。

また、これに加えてデジタル化推進室主導のワーキンググループを設置していく予定である。

今後、このワーキンググループで課題などを検討し、取り組みを進める予定である。